



自民党豊島区議団

# 細川 正博

【豊島区議会レポート】 Vol. 3  
～第4回定例会～



平成 24 年 1 月発行

## 【はじめに】

激動の 2011 年が過ぎ、皆様におかれましては気分新たに新年を迎えられたことと存じます。

3.11の教訓を忘れることなく、安全安心の街づくりをしていかねばなりません。

大阪維新の会の躍進など、地方から中央を動かすうねりを創る可能性を感じた出来事もありました。これからは地方議員といえども出来るだけ大きな視野を持ち、世界の中の日本ということ意識しつつ、国の形を考える必要があります。

今後も視野を広げる活動を積極的に行い、区政へ活かす決意です。

本年も宜しくお願い致します。

## 【第4回定例会】

11月25日(金)～12月12日(月)の会期で、第4回定例会が開かれました。

### 【主な議題】

- ・ 補正予算について（総額約 5 億 3,100 万円。当初予算の見込み額増による歳出(約 2 億)、公共施設再構築基金への積立(約 2.4 億)、学級増に伴う普通教室整備経費、敬老入浴事業等）
- ・ 職員給与の改定（平成 23 年特別区人事委員会勧告の実施。842 円（0.2%）ベースダウン）
- ・ 豊島区生活安全条例の一部改正、豊島区暴力団排除条例の制定
- ・ 南長崎中央公園整備、同公園内の体育施設新設に関する内容（関連条例改正など）
- ・ その他、専決処分報告、ジャンプ長崎新設（中高生施設）、子どもスキップ要の設置など

今回の議会では、豊島区生活安全条例の一部改正、豊島区暴力団排除条例の制定が一番の目玉でした(全国初の事例。議会へ NHK が取材に入っていました)。

豊島区生活安全条例とは、生活の安全を守るための区民の自主的活動を推進することにより、犯罪の防止に繋げる趣旨のもの。今回の改正では客引き行為等の禁止事項が加わった他、地域ボランティアが防犯活動する際に現場で指導する権限を委託できることなどが追加されました。

豊島区暴力団排除条例とは、東京都で施行された暴力団排除条例の上乗せで、犯罪の温床となる虚偽の養子縁組を防止する条項などが盛り込まれております。

いずれの条例も賛成多数で可決をされました(2012 年 4 月 1 日施行)。

私が所属する子ども文教委員会に付託された主な案件は、南長崎中央公園内に新設する体育施設について、ジャンプ長崎新設、子どもスキップ要の設置等の条例改正などと、「子ども子育て新システムについて」の請願が2件でした。

条例案は全て可決(自民は可決に賛成)。子ども子育て新システムについては、拙速に進めるべきではないという意見書提出を求める請願は全会一致で可決、東京都の保育関連の条例改正と新システム導入に対して反対をする意見書提出を求める請願は会期閉会中の継続審議(自民は継続に賛成)。

## [一般質問について] (2~3 頁)

会派を代表して初めての一般質問を行いました。以下、要約(イタリックは区からの回答です)。

私は「子供達の世代へ責任ある政治を!!」すべく、区政へ取り組んでいく所存です。今の日本には、行き過ぎた個人主義といわれる価値観が蔓延し、自分さえよければそれでよいという考えがはびこっております。家庭での教育が劣化し、地域とのつながりが希薄化している社会の背景が、さらに状況を悪くしております。当事者意識に欠け、無責任な態度を取る人が非常に多く、今の日本の状態は「無規範社会」である、と言っても過言ではありません。現代の日本が抱える諸問題、無縁社会、企業でのコンプライアンスの問題、元を糺せば結局教育の問題になっていきます。大本の問題解決のためには、これまでの技術偏重の教育から、規範を形成する人格教育へシフトする必要があります。そして伝統文化を大切に自分の生まれ育った地域、国を誇りに思う、勤勉を美德として自立を尊ぶ、惻隱の心、自己の不善を恥じる心、譲り合いの精神、など日本人の美德を取り戻さねばなりません。例え時間が掛かったとしても、やらねばならないと考えております。



## 1.教育について

### ▼教師力の向上

・学習指導力、生活指導力・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力を身に付けるための、豊島区独自の教員育成指針である「豊島ミニマム」の内容について、今後の見通しは？

→「豊島ミニマム」とは「これだけはやろう、出来るようになろう」という全教員を対象とした基準であり、人材育成の指針となるもの。各校の優れた実践を取り入れ、人材育成の指針に結晶させていく。

### ▼学力テスト

・伸びる子には得意分野をどんどん伸ばしてもらおうためにも、授業のスピードに追いつくことがなかなか難しい子も置いていかないようにするためにも、習熟度別授業は有効であると考えている。現在でも習熟度別授業は一部行われているが、今後の方向性は？

→「伸びるものは伸ばす」「つまずきのある者は越えさせる」ことが狙い。今後も推進する。

・平成 24 年度の全国学力テストは抽出調査により行われる。この際に希望校へは問題を配布するとのことなので、豊島区全校で行うべき。

→全校に問題を配布し、有効に活用する方向で検討。

・全国学力テストの悉皆調査での実施を国へ求めるべき。

→本来、学力調査の目的は、一人一人の学力の達成状況を把握し、対策を講じることにある。抽出調査では全体の傾向しかわからない。都や国へ積極的に悉皆で実施するよう要望する。

## ▼ICT(情報コミュニケーション技術)活用について

・東京大学などと連携して実験的に行われる千川中学校での取り組みにつき、豊島区教育委員会が考える「狙い」は?これまでの授業とはどこが違うのか?

→タブレット型パソコンやクラウド環境、最新のソフトを活用して興味・関心を高め、「分かる授業」を実践し、能動的な学習を推進する狙い。

無線LANを活用し、教室の移動が不要。教員は生徒の解答状況等の把握が可能。教室内の情報共有が容易で、協同的な学習が期待。この成果を他校へ広げ、学力二極化対応やICT活用に繋げたい。

## 2.保育について

### ▼民営化の計画性

・区立保育園の民営化については、中長期的な計画で出てくるべきだが、年度途中で民営化が決まったのはなぜか?(西巣鴨第二、高松第一)今回の民営化に際しては、子供達への影響を最小限に留めるよう、引き継ぎなどに最大限の配慮をすべき。

→立地条件がよく多様な保育サービスが求められること、施設整備段階から民間事業者の意向を取り入れる必要があること、さらに現下の財政状況を勘案し、年度途中であったが民営化を決定。

引き継ぎ期間に十分な時間を確保し、子供のみならず、保護者との信頼関係を確立することが重要であるため、十分意見交換をし、保護者の意向等を踏まえて進めるよう配慮する。

### ▼受入枠の増大

・待機児童ゼロを目指して対策を取るの重要だが、長期的に見れば子供の総数自体が減少。いわゆる”箱モノ”を作っていく対策を取れば、将来への禍根を残す。また、殆どの待機児童が3歳未満となっていることから、この年代への対策を強化することが肝要。そうした観点から、「保育ママ事業」の更なる拡充を図っていくべき。

→待機児対策については、保育計画に基づく既存の認可保育所の定員枠の拡大、認証保育所の展開をベースとし、保育ママや臨時保育所の施策で調整する。

平成24年度に向けて施設提供型保育ママ「すくすくルーム」2か所拡充。今後も積極的に活用。

・保育ママ制度を利用している保護者が、家庭支援センターへ一時保育をお願いする際には、利用料金の一定の減免措置があつて然るべき。

→優先的に利用できるが、保護者が1時間当たり500円の保育料を負担。保育ママが急に休暇取った場合は無料、生活保護世帯等は半額に減免の措置。保育ママ事業拡充のためには保育ママが休暇をとりやすい仕組みが重要。保育料の更なる減免につき、保育ママや保護者の要望を踏まえ検討。

## 3.放射能対策

・区内の保育園、区立小学校、区立中学校の全てを対象とした給食の放射性物質の検査をすべき。

→対象施設を限定したサンプル調査には一定の合理性があるが、全校実施を求める切実な要望があるため、実施に向けて具体的に検討する(その後、1月から全校で実施することになりました)。

## 4.その他(大塚駅周辺整備事業について)

・JR東日本の「JR大塚駅南口ビル」建築に関して、豊島区の「大塚駅周辺整備事業」について、どちらが主催の説明会でも、住民向けの説明会等を開催する場合は両方で連携して行い、図面等の資料は両事業の内容がある程度分かるものとすべき。

→将来的に大塚駅の顔となる事業なので、これまでも両方で連携を図っていた。地元説明会は各事業主体が責任を持って行うため共同開催は困難。今後の豊島区が開催する説明会では、極力駅ビルの内容も報告する。

【区外での主な活動】勉強会等で得た内容を区政へ還元すべく、区外でも活動をしております。

◆100人会

100人会の目的は、「国家的リーダーが立ち上がる際に、専門分野で支える100人を育てる。」「現代版規範形成教育プログラム」を開発・普及させること。

老荘思想研究家の田口佳史先生に師事し、規範形成教育の研究をしております。田口先生は「杉並師範館(H18～22年度まで、杉並区にて独自採用教師の養成塾として開講。全国から注目を集めた)」の元理事長で、これまで数多くの経営者や政治家などを育成してきた方です。

◆龍馬プロジェクト全国会

20代～40代の若手地方議員や議員志望者、政策ブレーンが中心となって集う超党派の全国組織。

将来世代に責任を持たない今の政治の有様では、日本はいずれ沈没してしまいます。地方議員と言えども、悠久の時を紡いできた歴史の縦軸と世界の中の日本という横軸を意識し、国や地方の形を考えていく必要があります。国家観が共有でき、互いに信頼しあえる横の関係を超党派で築いております。

研修会や勉強会、メンバー間の交流を通じて出来るだけ広い視野を養い、区政へ還元します。

2011年度から、及ばずながら私が関東ブロックのブロック長を務めております。



◆Pride of Japan～思いを一つに～

「日本人にとって忘れることができない日となった、3.11。正に国難とも言える有事に東北の方々が示して下さいました「日本人の精神性の高さ」、我々は同じ日本人として本当に誇りに思いました。その事に感謝し、それぞれが専門分野や強みを活かして東北の方々に応援したい。

また、平時から「日本人の精神性の高さ」が発現できるよう発信していき、日本を清く美しい流れに戻したい。」という思いから始めたプロジェクトです。2011年8月に石巻専修大学で2日間の応援イベントを開催し、私も現地入りをしました。今年3月には「日本人の精神性の高さ」を平時から発現させるための提言も行う予定です。

私は総務担当の他、政策提言の検討メンバーを務めております。

※1月9日(月)15:00～中野サンプラザにて行われる第3回「第二成人式」(若者に政治への関心を持たせるためのイベント)に私もパネラーとして参加します。他に横糸代議士(あいのり出演、弁護士)、桑原津南町町議(25歳、現役東大院生でTOP当選)など。お誘いあわせの上、是非足をお運びください。

【編集後記】

2月17日から始まる第1回定例会は予算委員会も行われる大切な議会です。税金悪化により歳入が厳しい見込みの下での予算組みなので、よりシビアに予算のチェックを行います。

子供達の世代へ責任ある政治を！！

発行責任者：細川 正博

住 所：〒170-0005

東京都豊島区南大塚 1-51-17

TEL/FAX：03-3945-2530

e-mail：[info@hosokawamasahiro.jp](mailto:info@hosokawamasahiro.jp)

公式サイト：<http://www.hosokawamasahiro.jp/>

Twitter：[@toshimahosokawa](https://twitter.com/toshimahosokawa)

Facebook：<http://www.facebook.com/hosokawamasahiro>

※ご意見、ご感想、ご要望をお寄せ下さい。